

★これも気になる一般質問

Q 昨年の台風18号被害後に策定した雨水対策は？

A ★課題は、浸水地区内の排水路断面が小さい、排水ポンプ能力の不足、地形が満潮時より低く自然排水ができないなどである。★具体策は、西古泉と筒井地区の境にある水路改修、排水路の拡幅の他、国近川の逆流防止ゲート建設などを考えている。今年度内に住民説明会、来年度に設計着手の予定である。
(金澤議員の質問より)

Q 熱中症対策は？

A 熱中症についての全体指導、お茶の持参、体育や部活動における休憩時間や水分補給の時間の確保、またミストシャワーの利用がある。全ての小・中学校において実施されている。

古城幼稚園3歳児の教室へのエアコン設置を予定している。これにより町内幼稚園では全室に完備されることになる。
(影岡議員の質問より)

Q 災害用食料の備蓄状況は。また、災害用の資機材の管理状況は。

A 想定最大避難者数11,783人の1食分として、飲料水と長期保存パンを、平成29年度から32年度にかけて各12,000人分を段階的に整備している。また、災害時には企業と物資供給協定を結んでおり、そこからも提供していただく。町民の皆さんにも「自助」による備蓄をお願いしたい。

災害用資機材は定期的に使用期限や数量を確認している。
(住田議員の質問より)

Q 2025年度に家庭から出す1人当たりの1日のごみの量を640g以下にし、リサイクル率30%の目標の進捗状況は。

A 一般廃棄物処理基本計画の基準年である平成21年度の家庭系ごみは、1人1日当たりのごみ排出量704g、リサイクル率21.5%だ。平成29年度の家庭系ごみ1人1日当たりのごみ排出量は683g、リサイクル率は25.1%となっている。リサイクル率30%に対し、ほぼ順調に進んでいる。

(加藤議員の質問より)

議会基本条例作業部会より

★6月29日、議会内勉強会を行った。

★議会改革の一環としてこれからの公会計や予算

決算のチェック力を議員として身に付けていくた

め学習の場を設けた。

★講師役を務めた議員が事前に用意したレジュメ

を基に、丁寧にわかりやすく説明した。

★各議員は、終始熱心にプロジェクターに映し出された図や表を見たり、資料を確認していた。

★今後の決算認定や予算編成に向けて、行政

チェックに役立つものと期待している。

★「公会計を活用するために今、なすべきこと」

・話し手 影岡議員

・ポイント
近年、議員は会計のブ

ロでなければならぬと言われている。決算を審査して様々な指摘をしていくことが仕事だ。議会審議や一般質問に公会計の知識を活用しよう。

★「決算認定に向けて元となる予算とその事業の達成度は」

・話し手 加藤議員

・ポイント
予算と決算は一連のもの。予算化された事業や活動の達成度を確認し、

財政運営全体をチェックできる力を。

